



【<http://www2.suita.ed.jp/school/jhs/12-nisiyama/>】

吹田市立西山田中学校  
令和 2年 7月 2号

学校教育目標 **認め合い、支え合い、主体的に学び続ける生徒の育成**

1. 「多様性を認め合う」生徒の育成
2. 「自立を促し、社会貢献できる」生徒の育成
3. 「主体的に学び続ける」生徒の育成

授業お邪魔します♪

林先生 with Kumar 先生 6月17日(水)2年2組 4限目



生徒が楽しそうにしていたのが印象的です。N君をはじめ、臆せず発言していました。私も参加させてもらって、H君とペアワークしましたが、すらすら上手に会話ができているし、とってもフレンドリーで、きっと林先生がフレンドリーだからそんな生徒に育てているんだろうと思いました。クマール先生とのチームティーチングで、林先生がイニシャチブをとられて、クマール先生の英語の説明に絶妙なタイミングでゲームの説明をされていました。2年2組の生徒たちも、ゲームで「その文章は、あかんやろ。」「ええんちゃうの?」と突っ込みをいれながら、楽しく If~の文章を作っていました。



得能先生(with 河野先生) 6月22日(月)1年2組 4限目

早くできた人に難問チャレンジをしていました。今まで習った順番をベースに四苦八苦する子もいれば、もっと簡単にできるよねっていう先生の声かけで、「あ！わかった。」と違うやり方を見出して満足げな様子の生徒もいたり。早くできた子が退屈しないで授業が面白いと思っている様子でした。難問に取り組んでいる子がいる間に、わからなくて困っている生徒の支援を先生がされていました。自分の間違いを分析してみると「何を間違っていたか？何を覚えていなかったか？」分析する手立てを聞きながら生徒は記入しています。最後に振り返りを兼ねた小テストでは評価基準も示されたので、生徒も真剣そのものでした。

小林明日香先生 6月23日(火)1年3組 2限目



既習事項の復習では、積極的に手が挙がり、先生の声かけ「素晴らしいね」「いいね」と先生が声を掛けられると嬉しそうな生徒たち。その後みんなのよく知っている「旅立ちの歌」を聞き、その歌詞で文節に区切りました。生徒は「おっ！知ってる歌や」と目を輝かせていました。くじらの飲み水の復習。くじらって飲み水何やろ?という展開から、ちょっとブレイクの時間「ナメクジのお話」ナメクジに塩をかけたらどうなるか、科学的なお話のプリントを生徒も興味深々。ムードが変わって、また身近な話なので、真剣にプリントを読んでいました。

小林哲也先生 6月24日(水)3年4組 2限目



班対抗で復習をしていました。今日はイオンバージョンで、わかった班の子が手を挙げていました。その後電気分解の説明。板書とスクリーンで説明をされていました。授業が終わったら、今日何を習ったのかわかるように、黒板に残った板書を見ながら復習。生徒は、先生の説明を一生懸命聞いていました。理科は、私も中学の時には、ひたすら覚えんとあかんって思っていて、面白って思うことなかったのですが、今日小林先生の解説で、日常のメッキの話とか聞くと、「なんでこれやってるの?」っていう謎が解けて、面白って思いました。

中尾先生 6月26日(金)3年1組 3限目



導入で、クロッキー帳にポスターを3分間で描いて隣と見せ合いました。生徒がとても楽しそうでした。鑑賞図では、思ったことをイメージマップに落としつけていきます。生徒も私も結構真剣にやりました。自分のイメージの貧困さを思い知らされました。隣の子とシェアではIさんとシェアしたら、Iさんが面白いことを描いていて、発見がありました。シェアって大事ですね。そこから鑑賞した絵の物語を書きました。Iさんとシェアしたおかげで物語が浮かんできました。これは自分のイメージマップだけでは浮かばなかった。まとめてシュールリアリズムの説明のスライドの構成がとても綺麗でした。ペアでのシェアや活動で、あっという間に時間がたちました。

### 河野先生(with 得能先生)6月29日(月)2年4組 2限目



復習の解き方を確認し合う形でペアで確認するときには、生徒は活発に話していました。プリントに今日のめあてを書いてめあての確認をした後、xについて解き方について説明しあう場面で、MくんとFくんは、自主的に順番に説明しあっていました。先生は、新しく買ったプロジェクターのペンを使って、スクリーンに書き込んでいました。新技術を駆使されていました。みんなはどんどん問題を解いていました。

### 藤田先生 6月30日(火)2年3組 2限目



単語の Bingo からスタート。ビンゴ用紙にみんな必死に書き込んでいきます。ビンゴになった人は嬉しそうに手を挙げていました。Peter Rabbit の本文解釈では、先生の質問にどんどん答えていきます。run-ran の発音の違いを先生がマスクを外して、クリアファイルで飛沫感染予防しながら、発音するのに合わせて、生徒もリピート。制限時間内で何回読めるか回数を数えながら、一生懸命音読している生徒は真剣そのものでした。

### 植西先生 with Kumar 先生 6月29日(月)3年2組 4限目



Speaking test の説明をされていました。何を頑張ったらいいのか生徒は真剣に聞いています。ペアで日本語、英語でチェック。スライドに書いてある手順に従って、生徒はペアで確認しています。テストに向けての Hint とその英文の練習では生徒が、フリーに発言できる雰囲気の中で英語を話しやすい環境だなと思いました。デモンストレーションでやり方を示して、英語で説明し、生徒はデモンストレーションを見ながら理解しています。生徒と先生が絶妙な間合いで会話されていて、楽しそうでした。

### 柑本先生 7月1日(水) 3年3組 2限目



まず、今日は何をするのか先生から説明がありました。遺伝の仕組みを先生がきれいな板書で、書いている間にみんな真剣に写しています。遺伝のモデル実験では、青色のシートと透明なシートで、優性と劣性を説明され、みんなが答えます。実際に、物があると、わかりやすく、生徒もすらすら答えています。先生と生徒のやりとりも楽しかったです。3組は生徒がフレンドリーなので、普段はとても活発なようですが、今日は私がいたからか？ちょっとおとなしめだったようです。

### 小林重信先生 7月6日(月)3年1組 3限目



基礎知識をペアワークでされていました。「昨日の自分を超越する」キャッチーな言葉で生徒はやる気満々。先生が声のトーンを変えると、ずっと集中して、次のことに取り掛かりました。今日の授業のゴールは、「解き方をレポートする」ということで、問題に答えよりもプロセスを大事にした授業でした。先生はあまりしゃべらず、生徒に考えさせてペアで説明をします。答えがわからなかったら、自由に黒板に貼ってある答えを見に行き、そこから説明の仕方を生徒は考えていました。説明するのが、とても楽しそうでした。

### 藤木先生 2年3組 7月14日(火) 3限目



先生の声がすごくよく通って、うなずきながら聞いている生徒たち。ノート返却で、子ども同士でノートを見せ合っていました。どんなノートが A+なのか、興味深々でした。「あー書くの忘れてた！」って声も聞こえてくる。スクリーンに雨温図を出し、説明されているときには、生徒も見比べながら真剣な様子。自分が中学生の時にこれが苦手だったのは、その気候区分とグラフの見方が一致していなかったなど今日改めてわかりました。雪が解けるから苔ができる。そーだよー！って本日一致しました。